

Catch the WAVES!

新潟県立佐渡中等教育学校
学校だより 令和7年度6月号
HP:<https://sado-ss.nein.ed.jp>

「獅子搏兔」 令和7年度 体育祭 総合優勝:赤軍

今年度の体育祭のテーマは「獅子搏兔(しはくと)」、「どんなときでも手を抜かず最後まで全力を尽くす」という意味が込められています。軍団全体が丸となり、最後まで全力を出し切って体育祭に臨む姿が印象的な体育祭でした。6年生が見事にリーダーシップを発揮し、全校生徒が努力し協力する、そんな姿も見事でした。

【生徒会長・体育祭実行委員長 高野 れあ さん】

初めに、今年度も無事に体育祭を開催できたこと、とても嬉しく思います。新入生募集停止に伴い、1～6学年でできる体育祭は今年が最後でした。私は体育祭実行委員長として、生徒全員が「楽しかった」、「全力を尽くした」、そして「心に残る一日となった」と思えるような体育祭にしたいという一心で準備に励んできました。

ですが、至らないところも多々あり、進み具合に不安を覚える中、先生方や生徒のみなさんにはとても助けられました。準備期間が少ないながら、応援団や学年委員を中心として、各軍それぞれ、様々なアイデアを出し合って創り上げた体育祭は素晴らしいものとなり、私たちに深い達成感と絆を残してくれました。前日は雨に見舞われ心配もありましたが、当日は天候に恵まれ、各軍が準備してきたものを最大限発揮できたことと思います。

そして何と言っても、今年のスローガンである「獅子搏兔」に込められた意味を体現すべく、生徒一人一人がどんな時でも最後まで全力を尽くしている姿は、とても印象的でした。

最後になりますが、体育祭のために御尽力くださった先生方、生徒の皆さん、そして温かく見守り応援して下さった保護者の方々に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【青軍応援団長 6年1組 本間 優那 さん】

6年間の体育祭を振り返って、今までで一番思い出に残る体育祭になりました。青軍の皆さんには、5曲もの難しいダンス、隊形移動も5回あり、練習時間の少なさにも関わらず、本番では素晴らしいパフォーマンスを見せてくれて、涙が出そうになるくらい感動しました。そして、私たち6年応援団を輝かせてくれた衣装、小道具を製作してくれた衣装・小道具係のメンバーのみなさん、ダンスの振りつけや隊形移動を変更してしまい、負担をかけ続けてしまったけれど最後まで私の指示をよく聞いて各学年をまとめてくれた応援団の皆さんには、感謝しかありません。

私は毎年応援団をしてきて、ずっと応援団長に憧れてきました。私が応援団長になって体育祭を成功させることができたのは、手伝ってくださったみなさんの支えがあったからです。本当にありがとうございました。

【赤軍応援団長 6年1組 野田 妃夏 さん】

今年度の体育祭は私の人生で1番と言えるくらい思い出に残る体育祭でした。私は応援団経験がなく、人前に立ってみんなをまとめることや、5回しかない応援練習で隊形移動も難しいダンスも歌も覚えなければいけないことなどたくさんの不安がありました。でも、赤軍のみんなが1回1回の練習をすごく大切にしてくれたおかげで、曲を流したら自然と踊れるくらいになっていて、正直「みんな天才過ぎるよ!!」と思いました。

また、衣装・小道具係の皆さん、毎日遅くまで残って作ってくれて、ありがとうございました。時間がない中でも私の要望通りに作ってくれたおかげで、パフォーマンスがとてもかっこいいものになりました。

最後に、応援団員の13人、細かいところまで完璧に覚えて各学年に教えてくれたおかげでスムーズに練習が進みました。ありがとうございました。

本番は天候にも恵まれ、思い描いている以上のパフォーマンス、そして総合優勝をつかみとることができました。これは、体育祭運営に関わってくださった先生方、赤軍の皆さん、正々堂々戦ってくれた青軍の皆さんのおかげです。最高に楽しい一日をありがとうございました。



体育祭の結果

👑総合の部:赤軍

競技の部:赤軍

応援の部:青軍

衣装・小道具の部:青軍, 赤軍(※同点のため)



1 学期中間考査

前期生は6月16日～17日、後期生は6月13日～17日の日程で、1学期中間考査が行われました。1年生にとっては、中等生として最初の定期考査となりました。どの生徒も、学習の成果を発揮できるよう、集中して考査前の学習に取り組んでいました。また、考査前は教室に残り、級友と共にテスト勉強をする姿も見られ、中等生として高い意識をもって定期考査に臨む姿が見られました。考査の返却が各教科で行われましたが、御家庭でも頑張った点や良かった点について話し合い、今後の学校生活につなげていってほしいと思います。

人権教育、同和教育講演会

6月26日、人権教育、同和教育講演会が行われました。部落差別をなくす佐渡の会 石崎 澄夫 様にお越しいただき、「被差別部落に愛を注いだ人 井坂照と森知幾」という演題で御講演いただきました。講演では、佐渡島内の被差別部落についてのお話、差別をなくそうと活動してきた人たちの取り組み、私たちが差別についてどのように考え向き合っていくべきか、など多くのお話をいただきました。生徒たちも真剣に聞き入り、いじめや差別、人権について学ぶことの大切さ、また身近な問題やこれからの過ごし方などについて改めて再確認し、意識することができたかと思います。

